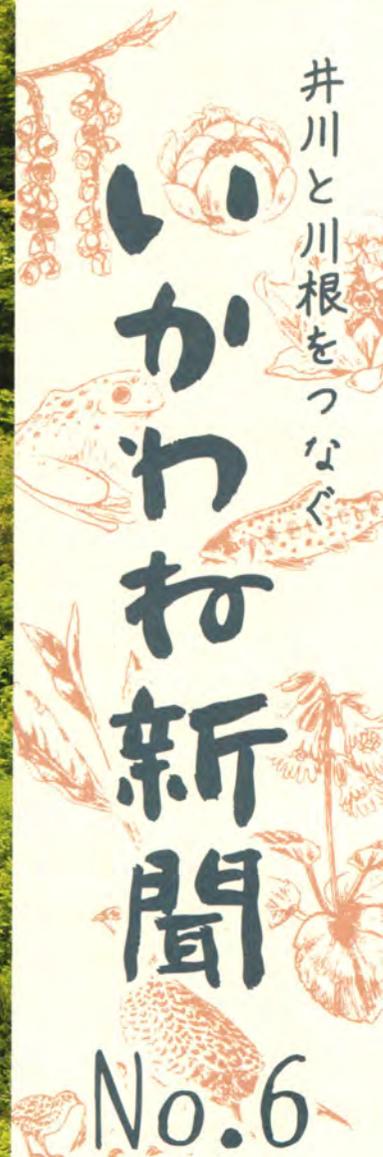


井川と川根をつなぐ

いかわね新聞

No.6



関の沢橋梁

いかわねをつなぐ あふとライン



南アルプス
14エコパーク

千頭^{チガタ}駅から井川駅までの25・5 km、標高差約400mの山岳区間を結び、いかわねの暮らしをつなぐ日本で唯一のアプト式鉄道、南アルプスあふとライン。もともとは、水力発電所建設のための資材を運ぶトロッコ列車として使われていましたが、昭和34年からは、地域の暮らしを支える交通、観光の要となりました。

山間地域をゆつくりゆつくりと進む小さな赤い列車。深碧^{シロベニ}の湖面や木漏れ日、雄大なダム景色だけでなく、列車のリズムや音が心地よく伝わるトンネル、作業を止めて手を振ってくれるお父さん、プラカードを持って出迎えてくれる駅員さんなど、歯車をひとつひとつ噛み合わせるように、ひとつひとつの出会いとおもてなしを、ゆつくりと楽しむことができます。

尾盛駅(かわね)と関蔵駅(いかわ)との間にある、いかわねを結ぶ鉄道橋「関の沢橋梁^{せきのみせりょう}」は、川底からの高さが約71mあり、日本一(私鉄)の高さを誇ります。いかわねを代表する「高い山、深い谷」が織りなす素晴らしい景観をゆつくり楽しむことができます。う、橋上を徐行運転してくれる優しいおもてなしが、温かい気持ちにさせてくれます。

速さや効率ばかりが求められがちな日常。いつもは自動車を通り過ぎてしまいかわね路を、あふとラインでゆつくり進んでみませんか。きつと、懐かしくも新しい出会いがあなたを待っています。

ひらんだ駅

かわね



平成2年(1990)、長島ダム建設による路線付け替えで誕生した駅です。駅前には国体・カヌー競技の会場にもなった「奥大井接岨湖カヌー競技場」が広がります。ここは長島ダム・接岨湖の一部で、「カヌーの町・川根本町」を象徴する場所。普段は地元・川根高校のカヌー一部が練習に使っていますが、最近ではカヤックや釣りを楽しむレジャー客も増え、地域に開かれたダムとして親しまれています。

カヤックで廃トンネルの中へ!!

ひらんだ駅前のカヌー競技場からスタートして上流へ。接岨湖には旧井川線の線路やトンネルが眠っています。水位が低いと線路とトンネルが姿を現し、水位が高くなると姿を消してしまいます。カヤックに乗ってトンネルをくぐれるのは運したい!? 昔列車が通っていた場所をカヤックで進むなんて、とても不思議で貴重な体験です。



いかわねの
おすすめスポット

かわねこやま 川根小山駅

かわね



川根小山駅は千頭駅から5.8kmの地点にあり、一日の平均乗降客3人の無人駅です。川根小山駅から徒歩10分の小山トンネル付近には大井川の穿入蛇行を見ることができます。右も左も大井川、通称「牛の頸」(ぎやーのくび)といい、両者の距離がわずか50mで標高差が25mあります。大井川流域は、世界的に見ても隆起が激しい地帯であるため、このような蛇行が作られます。

大井川の歴史を凝縮

川根小山駅から徒歩5分のところには「牛の頸」の地形を活かして、明治43年に日英水電によって作られた小山発電所跡があります。大井川水系初の発電所で、昭和11年まで島田、浜松方面に送電していました。近辺には、貯水池跡、旧井川線のトンネル、小山の吊橋の先に、発電所建設の構想を進めた鈴木久一郎翁の記念碑があり、ちょっとした散策におすすめです。



いかわねの
おすすめスポット

エンジンに乗って通学!?

あぶとラインはディーゼルエンジンで走っているため、地元住民から「エンジン」の愛称で親しまれています。7、8年前までは「エンジン」に乗って通学する学生もいて、沿線住民の暮らしを支えてくれました。





あふとラインがつなぐ いかわねの暮らし

南アルプスあふとライン（大井川鐵道井川線）には、千頭から井川まで、14の駅があります。憩いのスポットとして整備された大樽公園のある「長島ダム駅」、絶景を楽しむことができる「奥大井湖上駅」、若返りの湯と呼ばれる名湯がある「接岨峡温泉駅」などが観光地として有名ですが、ひとつひとつの駅に、その地域ならではの人々の暮らし、スポットなど、魅力がたくさんあります。途中下車もまた、あふとラインの楽しみ方のひとつです。

いかわ

かんぞう 閑蔵駅



閑蔵分校跡

あふとラインでは井川の玄関口となる駅です。「かんぞう・甘草・甘蔵・神増」と表記は様々ですが、寛文2年(1662)には集落の名が記録に記されています。鉄道ができて道路が整備される前までは、山道を2時間程かけて井川の本村まで歩いてきたとか。川根と井川を結ぶ県道の新接岨大橋からは、井川の奥へと続く深い山々と、かつて川狩りが行われていた大井川がゆっくりと流れる様子が一望できます。

終着駅の先にある廃線小路



井川駅から少し歩いて井川ダムの中部電力井川展示館を過ぎると、廃線となった線路が見えてきます。井川ダム建設当時の資材搬入駅(旧堂平駅)へと続く廃線が遊歩道に整備され、線路の上を歩く、ちょっとした冒険が楽しめます。廃線から見る井川湖の景色は最高です。

やまじゅう

駅から県道に向い徒歩30秒。「お休み処手打ちそば」の看板通り、自家栽培、自家製粉の手打ちそばを食べながらゆっくりと会話を楽しめるお食事処。昔から大切に作り続けている在来雑穀の味が楽しめるきび団子や「ほもろこし」の柏餅が大好評!自家栽培の麦でつくる麺味噌は遠方客のファンも多いとか。

連絡先 静岡市葵区井川2177
電話054-260-2458



思い出の閑蔵分校

駅から県道を横切って真直ぐ下ると昭和34年まで開校されていた閑蔵分校があります。「小さい学校だけど和気あいあいとして楽しかったよ。運動会には村の人も来てくれて、家で採れた野菜を賞品にしてね。」と、学校というよりは集落の人々と共にある集会場のような場所だったとか。今では、カエルやイモリ、夏の夜には蛍も飛び交う昆虫たちの憩いの場となっています。

いかわねの
おすすめスポット



井川湖渡船プレミアム缶バッジ

かなりの人気で…

みなさん井川湖の渡船「赤石丸」をご存じですか？井川湖の周遊ができる上、なんと無料なんです。



【渡船利用可能日】 土日祝日
※4月第4週～12月第1週は平日も運行

井川支所では、渡船利用促進のために職員と井川小中学校の子どもたちで制作にあたってはデザイン、配布の対象者、配布方法、バッジに込める願い等々について子どもと大人が真剣に話し合いました。子どもたちは制作を通してふるさとの魅力を再発見でき、相手を意識することにより良い作品を作ることができました。

紅葉時期には多くの観光客が訪れ、初回生産分が終了したためバッジを増刷しました。全6種類のバッジをゲットしに、井川の自然を満喫してみたいいかがでしょうか？



2017 3月～ いかわねの イベントカレンダー

3月	11日(土)	いかわ かわね	南アルプスあぶとライン 全線復旧
	11~12日 (土・日)	かわね	SLフェスタin千頭
	18日(土)	いかわ かわね	南アルプスあぶとライン 全線復旧記念式典/おかしイベント
4月	19日(日)	いかわ	ダムツアー(井川ダム)
	20日(月・祝)	かわね	ダムツアー(長島ダム)
	2日(日)	かわね	徳山さくら祭り
	中旬	かわね	献茶式、川根茶の日
5月	29日(土・祝)	いかわ	二軒小屋・樺島ロッジ営業開始 大井川源流特定区釣り場開設
	29日(土・祝)	いかわ	赤石温泉まつり(白樺荘)
	4日(木・祝)	いかわ	あまごの里釣りまつり(東河内)
	5日(金・祝)	いかわ	春まつり in井川ビジターセンター
	中旬	かわね	ホテル観賞

※予定は変更される場合があります。
詳しくは下記までお気軽にお問合せください。

井川観光協会
☎054-260-2377

川根本町まちづくり観光協会
☎0547-59-2746

いかわね新聞第6号 2017年3月1日発行(年3回発行)
発行:南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会
〒4208602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市環境創造課内
TEL:054(221)1357

【会員】静岡森林管理署 天竜森林管理署 静岡県 静岡市 川根本町、(株)特種東海フ
オレスト、中部電力株静岡支店、しずてつジャストライン(株)、川根本町森林レクリエー
ション推進協議会、自然公園指導員、井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南
アルプス・井川エコツーリズム推進協議会、一般社団法人エニティかわね

【会の紹介】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然
環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な利活用を推進することを目的とした協議会
です。※この新聞では、「かわね」と表記しています。



今回は、南アルプスあぶとライン(大井川鐵道井川線)初の女性運転士羽倉知世さんを紹介します。

羽倉さんは、生まれも育ちも川根本町で都内の短大を卒業後、保育士の道へと進みました。その時、遠足で訪れた「鉄道博物館」で子どもたちと夢中になって見た電車に興味を持ち、鉄道会社へ転職を決意。全く業種の違う転職に友人たちからは驚かれたと言います。

平成23年5月から奥泉

かわねの人々 Vol.6 羽倉 知世さん (川根)

駅で駅員として入社後、運転士に憧れて車掌の業務経験を積み、内燃車運転免許を取得。平成27年12月から運転士として乗務するようになりました。

平成29年3月11日から全線復旧するあぶとラインですが、羽倉さんに見所を聞いたところ「関の沢橋梁」との答えが。こは、日本一の高さを誇る鉄道橋としても有名ですが、写真撮影や景色を眺めるために徐行運転をしてくれます。徐行運転は、制御ハンドルをうまく調整しないと車両が揺れてしまうため、快適に乗っていただけのように運転する「腕の見せどころ！」と言います。

「将来は、電気車の運転免許試験にも挑戦し、あぶとライン全線を運転できると、笑顔で語る羽倉さん。運転士という仕事が本当に好きなんだと思う写真をパシャリ。」

いかわね新聞 編集後記

- 「南アルプスあぶとライン周辺地域誘客協議会」が立ち上がりました
- 協議会では、「あぶと無人駅の利活用について」読者からのアイデアを募集しています

【送付先】川根本町商工観光課 〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭1183-1 MAIL:shoko-kanko@town.kawanehon.lg.jp

